

平成31年度
事業計画書・収支予算書
(案)

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して
新生ふくしま～さらなる挑戦～

1. 基本理念



足腰の強い「健都ふくしま」を目指して 新生ふくしま～さらなる挑戦～

会頭 渡 邊 博 美

東日本大震災から8年が経過する中、福島市の経済はいまだ続く風評や復興需要のピークアウトなど課題が山積しています。また、昨年実施した会員実態調査において、会員事業所が直面している経営課題として「売上・受注の減少」、「人手不足・人材難」を挙げる回答が多く寄せられました。さらに本年10月には消費税率引上げと軽減税率の導入が予定されており、企業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

私たちはこうした課題を的確に捉え、経営発達支援計画に基づき、事業者に寄り添った伴走型支援を推進し、生産性向上や販路開拓、新分野進出の後押し、円滑な事業承継など経営課題の解決につながる事業に積極的に取り組んでまいります。

一方で明るい話題もあります。6月の「東北絆まつり2019福島」、全面リニューアルされる8月の「第50回福島わらじまつり」は福島の元気を国内外に発信する絶好のチャンスであります。さらに来年4月からは福島市が生んだ昭和の大作曲家・古関裕而氏夫妻をモデルにしたNHK朝の連続ドラマ小説「エール」の放映が決定し、同年7月には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、福島市では野球・ソフトボール競技が開催されます。東北中央自動車道の整備も着実に進展し、交流人口の拡大が一層期待される中、福島市の魅力を高めるために、インバウンド対応も含め、おもてなしサービスの向上に努めてまいります。

中心市街地においては、昨年12月に福島市が「風格ある県都を目指すまちづくり構想」を公表しました。福島駅東口再開発事業が動き出す中、賑わいと魅力あふれる中心市街地を実現するために幅広い世代が参画し、世代を超えて集える賑わい創出イベント等を積極的に実施し、地域経済の活性化を図ってまいります。

市民・企業・地域社会の元気をつくるため、基本理念を「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」と掲げ、「新生ふくしま～さらなる挑戦～」を年間テーマに「ふくしま将来ビジョン」の実現に掲げたアクションプランを着実に展開しながら、①福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化、②県境を越えた広域連携の推進、③会員事業所のニーズに対応し、個社に寄り添った中小企業支援の充実、④観光振興および交流人口拡大対策の推進、⑤議員・役員改選と組織・財政基盤の強化を重点施策として各種事業を着実に実行してまいります。

会員事業所の発展と地域の活性化のため、さらに現場主義に徹しながらオール福島で福島市の発展のために全力で取り組んでまいります。

1. 事業方針

1. 基本理念 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

2. 年間テーマ 新生ふくしま～さらなる挑戦～

3. 事業方針

東日本大震災から8年が経過する中、福島市の経済はいまだ続く風評や復興需要のピークアウトなど課題が山積している。

福島市が真の復興を目指す「ふくしま将来ビジョン」の実現に向けたアクションプランに基づき将来に希望のもてるまちづくりを推進するためには、市民・企業・地域社会の元気が不可欠であることから、会員事業所の発展と地域の活性化のため、現場主義に徹しながら、失敗を恐れず新生ふくしまに向けた事業に積極的に取り組んでいく。

(1) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化

福島市が平成30年12月に発表した「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に描かれた賑わいと魅力あふれる中心市街地を実現するため、民間の活力と幅広い世代の参画によるまちづくりの推進を図る。

また、まちの回遊性を高め滞留時間を増やすために、世代を超えて集えるイベントの充実を図るほか、情報発信機能を強化し、来街者の増加につなげて賑わい創出を図る。

(2) 中小企業支援の充実

平成30年度に実施した会員実態調査において、会員事業所が直面している経営課題として復興需要の減少等による「売上・受注の減少」とする回答が多く挙がったことから、平成30年3月に経済産業大臣から認定を受けた経営発達支援計画に基づき、事業者に寄り添った伴走型支援を推進し、経営課題の解決に取り組む。

2019年10月に消費税率引上げと軽減税率の導入が予定されており、さまざまな分野での影響が予想される。人手不足・人材難も引き続き大きな課題であり、生産性向上や人材育成などを推進するとともに、販路開拓や新分野進出への取り組みを支援するほか、円滑な事業承継の支援を積極的に取り組む。



(3) 広域連携推進による観光振興

「東北絆まつり2019福島」、全面的にリニューアルする「第50回福島わらじまつり」の開催を通じて、福島の元気を積極的に発信するほか、来年4月から放映される古閑裕而・金子夫妻のNHK朝の連続ドラマ小説「エール」や東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対応も含めたおもてなしサービスの向上を図り、国内外から何度も訪れたいなるまちづくりに努める。

また、中核市福島市を中枢都市とする連携中枢都市圏構想の形成を見据えながら、東北中央自動車道を活用した広域連携や観光振興を推進し、交流人口の拡大を図る。

(4) 組織・財政基盤の強化による会員サービスの向上

第30期の新体制を確立し、会員事業所と地域経済の発展に貢献する組織・財政の基盤強化を図る。

また、25年ぶりに再編・統合した新部会の活動を活性化するほか、平成30年に実施した会員満足度調査で得られたニーズや課題に対応し、健康経営の推進をはじめ新たな会員サービスの実施など会員満足の向上を図る。

4. 主な重点事業

左記の事業方針に基づき、平成31年度に取り組む主な重点事業は次のとおりとする。

(1) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化

- ▶ 福島駅東口地区市街地再開発事業への支援・協力
- ▶ 再開発事業と連携した新たな交流・集客拠点整備の推進および環境整備の検討
- ▶ 大学生などの若者をはじめ幅広い世代による中心市街地活性化への参画
- ▶ 世代を超えて集える賑わい創出イベント等の実施

(2) 県境を越えた広域連携の推進

- ▶ 連携中枢都市圏構想の形成に向けた調査・研究
- ▶ 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（相馬～福島～米沢～山形）
- ▶ 都市圏構想を見据えた近隣商工団体との連携
- ▶ 福島市立地適正化計画等を踏まえた持続的な都市づくりの検討

(3) 会員事業所のニーズに対応し、個社に寄り添った中小企業支援の充実

- ▶ 経営発達支援計画に基づく伴走型支援による会員事業所の経営課題の解決
- ▶ 人手不足対応としての多様な人材活用の推進と IT 化等による生産性向上
- ▶ 事業承継税制の活用など円滑な事業承継への支援
- ▶ 消費税率引上げおよび軽減税率導入に向けた対策の充実
- ▶ ふるさと元気支援基金等の活用による創業・新分野進出への支援
- ▶ 健康経営セミナーの開催等による会員事業所の健康経営の取り組みへの支援
- ▶ 福島大学食農学類をはじめとする市内大学との産学官連携の推進

(4) 観光振興および交流人口拡大対策の推進

- ▶ わらじまつりを活用した地域活性化の推進
 - ・ 東北絆まつり2019福島の開催
 - ・ 第50回福島わらじまつりの全面リニューアル開催
- ▶ 昭和の大作作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ事業の推進
- ▶ 優待食事券事業「ランチで食うポン」の充実
- ▶ 観光振興によるインバウンド拡大への取り組みの強化・支援
- ▶ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携

(5) 議員・役員改選と組織・財政基盤の強化

- ▶ 議員・役員の改選と第30期新体制の確立
- ▶ 組織率40%堅持のための議員・職員による新たな会員増強運動の推進
- ▶ 共済制度の維持拡大と提携損害保険の推進
- ▶ 会員サービス事業の向上
 - ・ 会員満足度調査の結果を踏まえた新規サービス事業の検討
 - ・ 会員交流事業の充実

2. 施策目標

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して
 新生ふくしま～さらなる挑戦～



商工会議所の使命

地域経済の活性化

まちのにぎわいを支え、未来を創り、
 福島復興と再生を推進します。

企業の安定・成長

会員事業所の持続的発展に必要な
 事業を推進します。

商工会議所の活性化

会員事業所への支援強化に必要な
 足腰の強い組織づくりを推進します。



I 活力ある福島の創造

- A. ふくしま将来ビジョンの推進
- B. 政策提言・要望活動の推進
- C. 中心市街地の活性化
- D. 広域連携の推進
- E. 観光振興及び交流人口拡大対策の推進
- F. 地域の祭り・伝統文化の興隆
- G. 消費拡大の推進



II 会員事業所の発展

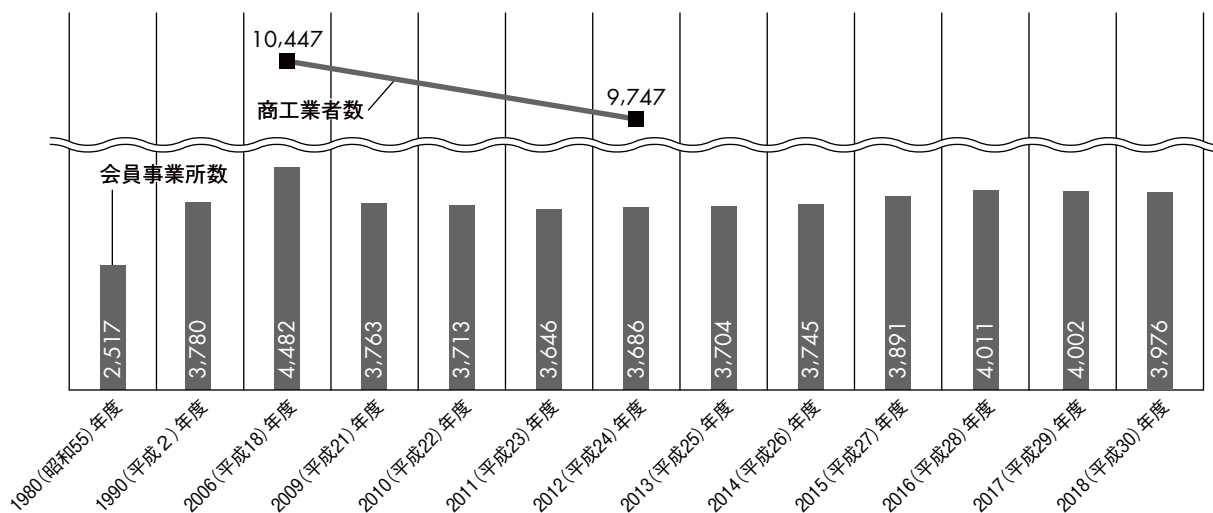
- A. 小規模事業者の伴走型支援の推進
- B. 相談支援体制の充実・強化
- C. 経営革新の推進
- D. ビジネス拡大の推進
- E. 事業再生・事業承継の支援
- F. 創業の推進
- G. 人材育成事業の推進
- H. 雇用対策事業の推進
- I. 各種調査・情報提供
- J. 業種別振興事業の推進
- K. 福利厚生 の 充実



III 魅力ある商工会議所

- A. 商工会議所の運営強化
- B. 運営基盤の強化
- C. 事務局機能の強化
- D. 情報収集力と発信力の強化

福島商工会議所の会員数 3,976 (H31.3.8現在)



□商工業者数：資料／経済センサス基礎調査（総務省統計局）
 ・数値は福島商工会議所管内（飯坂、松川、飯野地区を除く）の商工業者数
 ・調査は4～5年毎に実施され、直近として、2012（平成24）の数値を記載

3. 施策体系

将来ビジョン実現に向けて

福島商工会議所は、平成29年の創立100年を契機として、10年先の福島市が目指すべき姿を描いた「ふくしま将来ビジョン」を策定した。

ビジョンは福島市の真の復興・再生に向けてのスタートラインであり、その実現に向けた具体的な取り組み（アクションプラン）が何よりも重要である。

福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化、福島わらじまつりの全面リニューアルなど相次ぐ変化を確かなものとするため、アクションプランを遂行しながら、会員の皆様および行政や関係機関と一層の連携を図り、市民が将来に希望の持てるまちづくりを目指して具体的な事業展開を推進する。

商工会議所の3つの使命「地域経済の活性化」「企業の安定・成長」「商工会議所の活性化」を果たすため、目標を掲げて施策を力強く、現場主義に基づいて推進します。

施策 I 活力ある福島創造～地域経済の活性化～

まちのにぎわいを支え、未来を創り、福島の復興と再生を推進します。



写真：第49回福島わらじまつり（平成30年8月4日）



施策Ⅱ 会員事業所の発展～企業の安定・成長～

会員事業所の持続的発展に必要な事業を推進します。



写真：第1回健康経営セミナー（平成30年7月23日）

施策Ⅲ 魅力ある商工会議所～商工会議所の活性化～

会員事業所への支援強化に必要な足腰の強い組織づくりを推進します。



写真：スイーツバイキング（平成30年11月23日）

(1) 施策 I 活力ある福島の創造（地域経済の活性化）

I-A ふくしま将来ビジョンの推進

1 ビジョン推進のためのアクションプランに基づく事業の展開 **重点**

- (1) 部会・委員会等連携による具体的事業の実施
- (2) 福島市をはじめとする関係機関への提言並びに要望活動の実施
- ★ (3) 会員実態調査の結果に基づく新たな課題の抽出と対応策の検討

I-B 政策提言・要望活動の推進

1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上

- (1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
- (2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
- (3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究

2 政策提言・要望活動の実施

- (1) 福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望
- (2) 福島市の都市形成およびまちづくりの推進に関する要望
- (3) 中核市としての独自の施策の実施および連携中枢都市圏構想（※1）の推進に関する要望
- (4) 復興のための幹線道路の整備促進及び建設促進に関する要望
- (5) 観光振興および交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
- (6) 景気対策および中小企業対策等に関する要望

★ (7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組みの強化に関する要望

- (8) 原子力災害に関する要望

I-C 中心市街地の活性化

1 中心市街地活性化の推進

- (1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進

☆ (2) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化 **重点**

- ① 福島駅東口地区再開発事業への支援・協力
- ② 再開発事業と連携した新たな交流・集客拠点整備の推進および環境整備の検討
- ③ 福島駅周辺（駅前通り等）における賑わい創出イベント等の実施
- ④ まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究およびイベントの推進
- ⑤ 福島駅新東西自由通路の検討
- ⑥ 街なか広場の利活用の推進

★ (3) 若者のまちづくりへの参画の推進

- ① 若い世代に魅力あるまちの創造と、学生が滞留するための施設等の検討
- ② 市内の学生および若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくりの検討
- (4) (株)福島まちづくりセンターとの連携

2 世代を超えて集えるにぎわい創出の推進

- (1) 福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）等のにぎわい創出イベントの展開
- (2) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力（「まちなかイルミネーション事業」、「きて！みて！呑んでラリー」等）
- ★ (3) 福島駅前通りのにぎわい創出の仕組みづくりの検討

- (4) 関係団体との情報・意見交換

3 都心居住の推進

- (1) 集合住宅、ニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討
- (2) 県立医大「保健科学部（仮称）」新設に伴う住居ニーズへの対応
- (3) 空き家対策の推進
- (4) 日本版 CCRC（※2）の研究

4 まちなか情報の発信

- (1) ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化「新しい風ふくしま懇談会」との連携
- (2) まちなかイベントの相互PRの推進

I-D 広域連携の推進

1 県境を越えた広域連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（福島・相馬・米沢・山形） **重点**

- ① 相馬・米沢方面からの誘致策の検討
- ② 東北中央自動車道沿線道の駅等を活用した本市観光PR・物産展の実施
- ③ 仙台国際空港・相馬港・東北中央自動車道等を活用した広域観光周遊ルートの検討
- ④ 東北中央自動車道活用に向け、相馬・米沢の企業・山形大学工学部および商工会議所等との交流推進

☆ ⑤ 連携中枢都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携組織の設立と連携事業の推進

- (2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究
- (3) 連携中枢都市圏構想による中小企業振興の推進
- (4) 東北中央自動車道大笹生 IC 周辺整備（道の駅、工業団地等）の促進

2 福島西道路の南伸並びに東北中央自動車道霊山 IC と医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進



【凡例】 ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

I-E 観光振興および交流人口拡大対策の推進

1 昭和の大作作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ事業の推進 **重点**

- ★ (1) 古関裕而・金子夫妻のNHK朝の連続テレビ小説「エール」を核とする地域活性化策の検討・実施
- ★ (2) 「古関裕而氏の野球殿堂入りを実現する会」への支援・協力
- (3) 古関裕而氏を主人公としたラジオ番組の拡充
- (4) 「古関裕而関連事業」（青年部）への支援協力

2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

- ★ (1) わらじまつり（東北絆まつり2019福島・第50回福島わらじまつり）を活用した地域活性化の推進 **重点**
- ★ (2) わらじまつり PR 隊による広報活動推進
- (3) 既存観光資源の活用と広域観光の推進（信夫山、花見山、温泉、福島競馬場、フルーツライン等）
- (4) 県外・海外での観光PRへの支援・協力
- (5) ふくしま地域ポータルサイト「ももりんく」の運営支援

3 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

- (1) 「ふくしま花のまちフェスティバル2019」の実施

4 サービス業のおもてなしサービスと生産性向上のための「おもてなし規格認証」（※3）の取得に関する支援 **重点**

5 観光振興のための連携の推進

- ★ (1) 「ベストウィズクラブ第35回優良商工会議所福島県連視察」への支援・協力
- ★ (2) 東北・北海道商工会議所連絡会議の開催・支援
- (3) 「『福が満開、福のしま。』ふくしま秋冬観光キャンペーン2019」の推進支援
- (4) 仙台国際空港を活用した南東北3県にまたがる広域的な観光商品の検討
- (5) 周辺市町村と連携した広域観光の推進
- (6) 日本版DMO（※4）に関する調査・研究
- (7) 観光関係団体（福島市観光コンベンション協会等）との連携強化

6 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

- (1) 福島ユナイテッドFCへの支援（サポーターズクラブ加入促進等）
- (2) 「ふくしま吾妻荒川・花見山ツアーマーチ」、「あづま荒川クロスカントリー大会」の運営支援

☆ 7 国際交流およびインバウンド推進

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対応の推進 **重点**
 - ① 外国人との接客に関するおもてなしセミナーの実施
 - ② インバウンド受入れ環境の整備・拡充
 - ③ インバウンド受入れ拡大に向けた情報発信の強化

- (2) スイス連邦のホストタウンとしての交流の促進
- (3) ふくしま台湾友好協会の交流の促進

I-F 地域の祭り・伝統文化の興隆

- ★ 1 「東北絆まつり2019福島」の開催 [6月1日(土)・2日(日)] **重点**
- ☆ 2 第50回福島わらじまつりの全面リニューアル開催 [8月2日(金)・3日(土)] **重点**
- 3 第41回ふくしま花火大会の実施協力 [7月27日(土)]
- 4 第12回ふくしま山車祭り～県北の山車集結～の実施協力 [6月1日(土)、2日(日)]
- 5 「信夫三山暁まわり」に対する支援・協力

I-G 消費拡大の推進

1 飲食店ガイド・パンフレット等活用による消費拡大の推進

- (1) 優待食事券事業「2019ランチで食うボン（春）・（秋）」の実施 **重点**
- (2) 「ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」」の作成による飲食店等PR活動の推進

※1 連携中枢都市圏：地域で相当の規模と中核性を備える圏域の市町村が連携することでコンパクト化とネットワーク化を図り、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること。

※2 日本版CCRC：高齢者が地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指す。高齢者が積極的に就労や社会活動に参加することによる活性化や、医療介護サービスの活用による雇用の維持が図られるなど、地域へのメリットも大きい。

※3 おもてなし規格認証：サービス産業の活性化と生産性向上のため、サービス事業者のサービス品質の「見える化」を目的に2016年8月に経済産業省が創設。企画認証レベルに段階を付け、認証マークを店舗等へ掲示することでお客様が事業者を選別できるようになる。

※4 日本版DMO：官民協働で市場調査などの手法を用い、経営的な視点から「観光地域づくり」を進める法人。福島市では（一社）福島市観光コンベンション協会が候補法人に登録。

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長） ①

Ⅱ-A 小規模事業者の伴走型支援の推進

- 1 小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化 **重点**
- 2 ふるさと元気支援事業の推進（新規創業・新分野進出・新たな販売促進への補助支援） **重点**
- 3 小規模事業者持続化補助金等に係る経営計画等策定等伴走型個社支援の強化 **重点**

★ 4 福島県小規模いきいき支援事業に対する支援協力

5 連携による中小企業振興の推進

- (1) 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
- (2) 実践的なBCPの策定と活用への支援・協力
- (3) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力

Ⅱ-B 相談支援体制の充実・強化

1 金融に関すること

- (1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進
- (2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
- (3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
- (4) 金融相談会の開催

2 税務・経理に関すること

- (1) 記帳、決算指導および確定申告に関する支援
- (2) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援（ブルーリターンA等）
- (3) 消費税申告に関する支援

3 消費税に関すること **重点**

- ★ (1) 消費税率引上げ・軽減税率への対応
 - ① 消費税軽減税率導入に関する相談事業の実施
 - ② キャッシュレスセミナー等の開催
 - ③ レジ補助を含めた支援策の広報・PR
- (2) 消費税転嫁対策窓口相談事業の実施
 - ① 個別経営なんでも相談会の開催
 - ② 消費税転嫁対策セミナーの開催

4 労務に関すること

5 原子力損害賠償に関すること

6 専門家による指導体制の充実

- (1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
- (2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
- (3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
- (4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
- (5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施

7 事業継続に関する支援

- (1) BCP策定に関する支援
- (2) 経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の普及促進
- (3) ビジネス総合保険制度をはじめ事業リスクに対応した保険制度の普及促進

Ⅱ-C 経営革新の推進

1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化

- (1) 経営革新計画策定及び認定に関する支援
- (2) 経営革新に関する個別相談会の開催

Ⅱ-D ビジネス拡大の推進

1 小規模事業者の販路拡大支援（補助金活用による経営安定化の推進）

2 医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援

3 医産連携推進事業の充実

- (1) ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進
- (2) 福島県立医科大学と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

4 産学官連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進
- (2) 福島大学食農学類をはじめとした市内大学と連携した6次化の検討
- (3) 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化
- (4) 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究
- (5) イノベーションコースト構想に関する地域企業との連携

5 ビジネスチャンスの提供

- (1) 会員交流会・商談会の開催
- (2) ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録促進等）
- (3) DM 配送サービス（企業情報宅配便）による取引拡大支援
- (4) 商取引の照会・斡旋

6 優良会員事業所表彰制度による会員企業の顕彰

II-E 事業再生・事業承継の支援

1 事業再生に関すること

- (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
- (2) 事業転換に関する支援

2 後継者対策、事業承継に関する支援の充実 **重点**

- (1) 事業承継のマッチングに関する支援
- (2) 事業承継に関する個別相談の実施
- (3) 福島県事業引継ぎ支援センターとの連携

II-F 創業の推進 **重点**

1 創業スクールの実施

2 創業に関する個別相談の充実

- (1) ビジネスプラン作成の支援
- (2) 開業資金の調達に関する支援

II-G 人材育成事業の推進

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

- (1) 商売繁盛塾の開催
- (2) 経営課題別セミナーの開催
- (3) 組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）
- (4) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）
- (5) 「生産性向上支援訓練」の開催

★ ① パソコン教室の実施

- (6) 小学生職場体験事業の実施

☆ (7) 福島市産官学連携プラットフォーム連携推進会議との連携

2 各種検定試験による商工技能の向上

- (1) 各種検定試験の実施
 - ① 簿記検定（企業会計知識の習得）
 - ② 販売士検定及び販売士資格更新講習会（消費者の「買いたい」をつくる力の習得）
 - ③ 珠算検定（記憶力及び情報処理力の習得）
 - ④ PC 検定（パソコンを駆使した効果的・効率的な業務遂行力の習得）
 - ⑤ 福祉住環境コーディネーター検定（医療×福祉×建築の総合力の習得）
 - ⑥ ビジネス実務法務検定試験（ビジネス上の基本法律知識の習得）
 - ⑦ カラーコーディネーター検定（色彩効果の活用力の習得）
 - ⑧ 環境社会検定（eco 検定）（ビジネスと環境の関連説明力の習得）
 - ⑨ ビジネスマネージャー検定（マネジメントの基礎知識の習得）
- (2) 検定試験受験に関する企業等へのPR 強化

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長） ②

Ⅱ－H 雇用対策事業の推進

1 雇用対策に関すること

重点

- (1) 高等学校との連携による取組み（意見交換会・企業見学会等の開催）
- (2) 大学等（福島大学COC+事業（※5））との連携
- (3) 福島市雇用促進サポート事業の実施
- (4) インターンシップの推進
- (5) 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携および普及啓発

2 働き方改革・若者・女性活躍に関すること

重点

- (1) 働き方改革に関する国の各種施策についての情報提供
- (2) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発および推進
- (3) 若者・女性の人材育成についての先進的な取組事例の研究
- (4) 若者・女性活躍推進施策の研究および会員事業所への周知
- (5) 女性就業促進に関する行政への要望

3 健康経営[®]（※6）・職場環境に関すること

重点

- (1) 健康経営に関する研究および情報提供
- (2) 健康経営セミナーの開催
- (3) 健康寿命延伸に関する調査・研究および推進

Ⅱ－I 各種調査・情報提供

1 登録・申請・検査業務の実施

- (1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
- (2) 容器包装リサイクル業務の実施
- (3) GS 1コード（JAN メーカーコード）の登録受付業務の実施
- (4) 原産地証明書の発行
- (5) 加工食品の放射性物質測定
- (6) 放射線測定器の貸出

2 地域経済に関する各種調査の実施

- (1) LOBO（早期景況観測）調査
- (2) 年末年始商戦アンケート調査
- (3) 中小企業景況調査

Ⅱ－J 業種別振興事業の推進 〇は部会の重点事業

1 食品商業に関すること

- (1) 「食」に関する調査研究
- (2) 風評被害の払拭と福島市産品の販路開拓への取組み 〇
- (3) 税制度の勉強会
- (4) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成への協力 〇
- (5) 東北中央自動車道活用に向けた米沢・相馬の事業所との交流推進

2 生活関連商業に関すること

- (1) 個店の魅力向上支援と商店街との連携 〇
- (2) おもてなしサービスの向上支援 〇
- (3) 物流業の環境変化に関する調査研究
- (4) 広域連携事業の開催

3 工業に関すること

- (1) SDGs（※7）の理念に基づいての活動の推進 〇
- (2) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化 〇
- (3) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進（米沢、相馬企業や山形大学工学部等との連携）
- (4) 人材育成事業の実施（「県北技塾」、「生産性向上支援事業」の実施） 〇
- (5) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進

4 建設業に関すること

- (1) 建設業の基盤強化に向けた取組み（人手不足解消、IT活用や働き方改革による生産性向上に向けた情報提供） 〇
- (2) 東北中央自動車道福島大笹生IC周辺整備に関する情報提供
- (3) 連携中枢都市圏構想による広域連携に向けた研究
- (4) 福島西道路南伸ならびに東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進に向けた支援
- (5) 新たな都市形成を見据えた用途地域見直しに関する調査研究
- (6) 中心市街地開発に関する情報提供（風格ある県都を目指すまちづくり構想、福島駅東口再開発事業）



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

5 金融・経営支援に関すること

- (1) 中小企業支援のための連携強化 ◎
- (2) 福島復興・創生に資する研究開発拠点等の調査研究 ◎
- (3) 経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催

6 観光・飲食業に関すること

- (1) 福島市名誉市民「古閑裕而」氏に関連した各種事業の推進
- (2) 観光振興策の強化 ◎
- (3) 東北中央自動車道の活用等に関する広域連携の推進
- (4) 事業所の魅力向上のための各種講習会・セミナーの開催
- (5) 地域飲食店の繁盛支援
- (6) 高齢化社会の進展に関する各種情報の提供
- (7) 関係機関等との連携の強化

7 情報・通信業に関すること

- (1) 情報通信サービスに関するセミナー等の開催 (AI、IoT活用、キャッシュレスなど) ◎
- (2) 会員相互の理解や異分野の知見を広める視察会・情報共有の場づくり ◎
- (3) ICTを利活用した福島市のまちづくりの調査・研究

8 不動産業に関すること

- (1) 高齢者・若い世代の都心居住の推進 ◎
- (2) 福島市空家等対策事業に関する意見交換会の開催 ◎
- (3) 福島市の土地利用の促進に関する研究 ◎
- (4) 土地利用促進等に関する視察会・講演会の実施
- (5) 会員事業所への不動産に関する情報提供

9 健康・サービス業に関すること

- (1) 接客のレベルアップに向けた取り組みの実施 ◎
- (2) 生産性向上に向けた調査研究
- (3) 「健康経営」導入による経営安定に向けた調査研究
- (4) 部会員相互の親睦事業の実施

II-K 福利厚生の実践

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

- (1) 生命共済制度・個人保険の普及・拡大 **重点**
- (2) 特定退職金制度の普及・拡大
- (3) 提携損害保険の推進 **重点**
- (4) 小規模企業共済制度の普及・拡大
- (5) 共済加入者還元事業の実施
- (6) 会員交流ビアパーティの開催
- (7) スイーツバイキングの開催

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

- (1) 生活習慣病健診の実施
- ★ (2) 人間ドック健診の実施の検討

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

4 会員事業所従業員の婚活事業の実施

※5 COC+事業：地方創生の一環として、県内の大学・短大が地元就職への機会を増やすための取り組み。

※6 健康経営[®]：従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と併せて会社の生産性向上を目指す経営手法。「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標。

※7 SDGs：持続可能な開発目標。世界が2016年から2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標。地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むための世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標。

(3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）

<p>Ⅲ－A 商工会議所の運営強化</p> <p>★ 1 議員・役員の改選と第30期新体制の確立 重点</p> <p>2 運営強化のための会議等の充実</p> <p>(1) 常議員会・議員懇話会の充実</p> <p>(2) 部会長・委員長と正副会頭との意見交換会の開催</p> <p>(3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催</p> <p>(4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催</p> <p>(5) 他地区商工会議所の視察および懇談会の開催</p> <p>(6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催</p> <p>(7) 福島市新年市民交歓会の開催</p> <p>3 商工会議所組織の活性化に関すること</p> <p>★ (1) 新部会の活性化 重点</p> <p>4 会員サービスの充実</p> <p>★ (1) 会員満足度調査結果に基づく新たな会員サービス事業の検討</p> <p>(2) 会員交流ビアパーティの開催（再掲）</p> <p>(3) スイーツバイキングの開催（再掲）</p> <p>(4) オリジナルカレンダーの作成</p> <p>5 女性会・青年部の運営支援と連携強化</p> <p>(1) 福島商工会議所女性会の運営</p> <p>(2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営</p> <p>(3) 福島商工会議所青年部の運営</p> <p>(4) 各種事業への支援と連携強化</p> <p>6 福島県商工会議所連合会の運営</p> <p>(1) 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）</p> <p>(2) 要望・懇談の実施</p> <p>(3) 風評被害・風化対策事業の実施</p> <p>(4) 県内商工会議所職員研修の実施（経営指導員研修、補助員研修、一般職員研修）</p>	<p>7 外郭団体との連携</p> <p>(1) 福島市商店街連合会</p> <p>(2) 福島市商店街連合会青年部</p> <p>(3) 福島青色申告会連合会</p> <p>(4) 福島市青色申告会</p> <p>(5) 福島県珠算連盟</p> <p>(6) 福島珠算連盟</p> <p>(7) 福島わらじまつり実行委員会 福島夏まつり委員会</p> <p>(8) 福島エネルギー懇談会</p> <p>(9) 東北経済連合会福島地域懇談会</p> <p>(10) 福島県警察官友の会連合会</p> <p>(11) 福島地区警察官友の会</p> <p>(12) 福島県自衛隊協力会連合会</p> <p>(13) 福島市自衛隊協力会</p> <p>(14) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会 県北地域協議会</p> <p>(15) 福島リサイクル推進協議会</p> <p>(16) ふくしま台湾友好協会（海外交流の推進）</p> <p>(17) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会</p> <p>(18) 福島市にサッカースタジアムを作る会</p> <p>(19) 古関裕而・金子夫妻 NHK 朝の連続テレビ小説 実現協議会</p>
--	---



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ○は部会の重点事業

Ⅲ－B 運営基盤の強化

1 組織基盤の強化

- (1) 組織率40%堅持のための議員・職員による新たな会員増強運動の推進 **重点**
- (2) 共済制度・個人保険の維持拡大と提携損害保険の推進 **重点**
- (3) 組織・財政基盤の充実強化に関する具体的諸事業の検討

2 会員事業所の巡回訪問

3 未加入事業所に対する会員勧奨

Ⅲ－C 事務局機能の強化

1 事務局組織の見直しと強化

2 職員の経営支援能力等の向上

3 各種業務の見直し並びに改善の徹底

4 法令遵守体制の強化・改善

Ⅲ－D 情報収集力と発信力の強化

1 情報戦略の構築

- (1) 会員事業所への発信情報の研究・強化
- (2) 未加入事業所と市民への発信情報の研究・強化
 - ① 街かど情報ステーション・ほっとボックスによる情報発信
 - ② ももりんビジョンによる情報発信
- (3) メディアへの発信情報の研究・強化
 - ① マスコミとの意見交換会の開催
 - ② ラジオによる情報発信

2 所報ふくしまの発行と内容のさらなる充実

3 ホームページおよび ICT 環境の整備促進

4 物産展示室における資料提供の拡充・強化

第3部 部会・委員会事業

1. 部会事業 (正副部会長は平成31年3月14日現在)

部会とは

- 「部会」は業種ごとの会員で構成される商工会議所の基盤組織です。
- 部会ごとに会員およびその業種・業界の発展のための活動を行います。
- 平成31年度は、25年ぶりに部会を9つに再編し、より参加しやすく活発な活動を目指します。

平成30年度まで

1	卸商業部会
2	小売商業部会
3	工業部会
4	建設業部会
5	金融業部会
6	運輸交通業部会
7	旅館飲食業部会
8	情報文化部会
9	不動産業部会
10	庶業部会



平成31年度から

1	食品商業部会
2	生活関連商業部会
3	工業部会
4	建設業部会
5	金融・経営支援部会
6	観光・飲食部会
7	情報・通信部会
8	不動産業部会
9	健康・社会サービス部会

平成31年度の福島商工会議所議員任期は以下のとおりとなります。

第29期 平成28年11月1日～2019年10月31日

第30期 2019年11月1日～2022年10月31日

◎は重点事業

1. 食品商業部会

1. 食品商業の経営力強化に関すること

- (1) 「食」に関する調査研究
 - ・食料資源の有効活用に関する勉強会の開催（食品ロス問題）
 - ・福島の食（新たな食材等）に関する調査研究
- ◎(2) 風評被害の払拭と福島市産品の販路開拓への取り組み
- (3) 税制度の勉強会
 - ・消費税における軽減税率制度及びインボイス制度（2023年～）の研究と対策
 - ・レジ補助金制度の情報提供と活用支援

2. 食品商業の商環境および地域経済の活性化に関すること

- ◎(1) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成への協力
 - ・福島市アクション&レガシープランの理解と協力
- (2) 東北中央自動車道活用に向けた米沢・相馬の事業所との交流推進
 - ・米沢商工会議所食料品部会・商業部会との交流

部会長	(株)川瀬酒販 代表取締役社長	川瀬 成人
副部会長	(有)吾妻屋 代表取締役	吾妻 イネ
副部会長	(株)岩見 代表取締役会長	岩見 政弘
副部会長	渋谷レックス(株) 代表取締役会長	渋谷 順子
副部会長	福島水産(株) 代表取締役	遠藤 淳弘
副部会長	福島中央青果卸売(株) 代表取締役副社長	池田 進二



2. 生活関連商業部会

◎1. 個店の魅力向上支援と商店街との連携

- (1) 個店の魅力づくり支援セミナー開催および情報発信
- (2) キャッシュレス化対応セミナー開催
- (3) 消費税増税対応に関する情報提供
- (4) 商店街との連携による各種イベントへの協力

◎2. おもてなしサービスの向上支援

- (1) 東北絆まつり2019福島および第50回福島わらじまつり開催への支援協力
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成への協力
 - ・インバウンド受入れ環境の充実、強化への支援
 - ・外国人との接客に関するセミナーに対する支援
- (3) 「おもてなし規格認証制度」の取得に関する支援

3. 物流業の環境変化に関する調査研究

4. 広域連携事業の推進

- (1) 東北中央道活用に向けた相馬・米沢商工会議所との交流推進
- (2) 福島・相馬・米沢3市連携観光物産展事業への支援協力

部会長	(株)ダイユーエイト		
	専務取締役	三瓶	善明
副部会長	(株)いちい		
	代表取締役社長	伊藤	信弘
副部会長	(株)クラシマ		
	代表取締役社長	鈴木	廣明
副部会長	(株)近野		
	代表取締役	近野	輝雄
副部会長	(株)中合		
	代表取締役社長	黒崎	浩一
副部会長	ネットトヨタ福島(株)		
	代表取締役会長	大沼	健次
副部会長	福島市商店街連合会		
	会長	小河日出男	

3. 工業部会

◎SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の理念に基づいての活動

- ・SDGsの理念の習得・研究を行う。
- ・当部会事業は、SDGsの理念に基づいて活動を行う。

SDGs (エスディー・ジーズ) とは…

世界が2016年から2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標。地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むための、世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標である。

1. 「SDGs: 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」

- ◎(1) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化
 - ・当所工業部会員の出前工場見学会(会員スピーチ、製品紹介等)を継続開催して、その現状と課題等を知り、福島市のものづくり企業間の連携の推進を図る。
- (2) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進
 - ・東北中央自動車道の開通に合わせて、米沢・相馬両市の企業や山形大学工学部等とのさらなる連携の推進を図る。
 - ・新産業の育成や産業集積などに関する研究機関や大学等を継続して視察することにより、研究機関等との連携の可能性を模索する。
 - ・ふくしま医療関連ビジネス研究会との連携の推進により、医療福祉分野等への新規参入の可能性を探る。
 - ・国、県、市等における産学官連携、新産業の創出、産業集積等の製造業支援施策について、福島市の産業交流プラザ等との連携を図り、各種情報の収集および提供を行う。

2. 「SDGs: あらゆる人々の活躍の推進」

- (1) 人材育成事業の実施
 - ・管内製造企業の個々の技術者等のレベルアップを図り、地域製造業者の底上げを図ることを目的として、「県北技塾」を開催する。
 - ・地域の中小企業等が持続的に成長するために重要である、労働者一人一人の生産性向上を図ることを目的として、「生産性向上支援訓練」を開催する。

3. 「SDGs: 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」

- ◎(1) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進
 - ・福島市から米沢市まで開通し、将来的に相馬市まで繋がる東北中央自動車道の利活用推進を図るための、三都市(仙台・米沢・会津若松)工業部会交流会を活用した米沢・相馬商工会議所工業部会との交流を始めとした、県内外商工会議所工業部会との交流の推進を図る。

部会長	加藤鉄工(株)		
	代表取締役社長	加藤	利夫
副部会長	内池醸造(株)		
	代表取締役会長	内池	浩
副部会長	協三工業(株)		
	代表取締役	加藤	守
副部会長	サンヨー缶詰(株)		
	代表取締役社長	三枝	通晃
副部会長	福島製鋼(株)		
	代表取締役社長	三田	進
副部会長	(株)福島製作所		
	代表取締役	百田	昭洋
副部会長	(株)山川印刷所		
	専務取締役	山川	彬
副部会長	ワイザーエル(株)		
	取締役会長	山岸	則紀

4. 建設業部会

◎ 1. 建設業の基盤強化に向けた取り組み

- (1) 人手不足解消に向けた取り組みと今後の建設業の課題に関する研究
- (2) IT活用や働き方改革による生産性向上に向けた情報提供
- (3) 各種企業支援制度に関する情報提供

2. 福島市の都市形成に関する検討

- (1) 東北中央自動車道福島大笹生 IC 周辺整備に関する情報提供
- (2) 連携中枢都市圏構想による広域連携に向けた研究
- (3) 福島西道路南伸並びに東北中央自動車道霊山 IC と医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進に向けた支援
- (4) 新たな都市形成を見据えた用途地域見直しに関する調査・検討
- (5) その他福島の地域開発に関する情報の収集および提供

3. 中心市街地開発に関する情報提供

- (1) 風格ある県都を目指すまちづくり構想
～福島市中心市街地における将来ビジョンおよび公共施設の戦略的再編整備に関する方向性～
- (2) 駅東口再開発事業

部会長	東信建設(株) 代表取締役	佐久間政文
副部会長	入三機材(株) 代表取締役	上西 皓愼
副部会長	(株)大丸工務店 代表取締役	大和田知昭
副部会長	(株)杜設計 代表取締役	鈴木 宏幸
副部会長	日東物産(株) 代表取締役会長	大橋 廣治
副部会長	コバックス(株) 代表取締役	小林 仁一
副部会長	小林土木(株) 代表取締役	小林 健夫
副部会長	福島ネオ工業(株) 代表取締役	吉川 昭

5. 金融・経営支援部会

◎ 1. 中小企業支援のための連携強化

中小企業・小規模事業者の持続的な発展を促進するためには、中小企業支援策の充実を図ることが必要不可欠である。中小企業発展に向けて、部会員間並びに福島県事業引継ぎ支援センター等の関係機関と連携を強化しながら、下記事項について会員事業所を対象に普及啓発活動等を実施する。

- ・消費税率引上げ・軽減税率に向けた対策への支援
- ・事業承継推進に向けた取り組みへの支援
- ・創業や新事業進出に関する取り組みへの支援
- ・大規模自然災害に備えるためのBCP（事業継続計画）策定に向けた支援

◎ 2. 福島復興・創生に資する研究開発拠点等の調査・研究

福島の復興・創生を加速化するためには、福島県が推進する新産業の育成・産業集積の推進が重要であり、そのための研究開発拠点等の整備も必要不可欠である。新産業の育成に向け知見を深めるため調査・研究を行う。

- ・研究開発拠点等の視察・研究（他部会とも連携して実施）
（視察候補先）
福島ロボットテストフィールド（南相馬市）など
（研究棟開所時期：2019年第2四半期開所予定）
- ・行政並びに関係機関等からの情報収集および提供

3. 経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催

- ・経済・金融・経営・地域動向をはじめ、タイムリーな情報に関する講演会を開催する。

部会長	福島信用金庫 理事長	樋口 郁雄
副部会長	(株)東邦銀行 専務取締役	佐藤 稔
副部会長	(株)福島銀行 取締役社長	加藤 容啓
副部会長	東北税理士会福島支部 支部長	松浦 敏幸



6. 観光・飲食部会

◎1. 観光振興策の強化

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組みの強化
 - ・インバウンド受入れ環境の充実・強化への支援（サービスや滞在プログラムの検討等）
 - ・外国人との接客に関するおもてなしセミナーに対する支援・協力
- (2) 東北絆まつり福島、第50回福島わらじまつりを活用した観光振興の強化
- (3) 地域の食文化・果物等を活用した着地型観光戦略への支援
- (4) 事業所における「おもてなし」サービスの向上や「おもてなし規格認証制度」の取得に関する支援
- (5) 福島市名誉市民「古閑裕而」氏に関連した各種事業の推進

2. 東北中央自動車道の活用等による広域連携の推進

- (1) 東北中央自動車道沿線道の駅等を活用した本市観光PRの推進
- (2) 相馬・米沢商工会議所との部会活動を通じた連携の推進

3. 事業所の魅力向上のための各種講習会・セミナーの開催

- (1) SNS等を活用した情報発信に関するセミナー
- (2) 消費税率引き上げを見据えたキャッシュレス化推進に関するセミナー

4. 地域飲食店の繁盛支援

- (1) 『ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」』の作成による飲食店等PR活動の推進
- (2) 当所「ランチで食うボン」事業への協力

5. 高齢化社会の進展に関する各種情報の提供

- (1) 高齢者免許証返納支援制度に関する情報の提供

6. 関係機関等との連携の強化

- (1) 中心市街地活性化へ向けた「福島きて！みて！吞んでラリー」への協力
- (2) 県・市観光担当部局、観光コンベンション協会等との連携の強化および推進

部会長	(株)ザ・ホテル大亀		
	代表取締役	渡辺	豊
副部会長	(有)シーリン		
	代表取締役	日比野恒夫	
副部会長	福島飲食業組合		
	組合長	菅野	裕輔
副部会長	福島交通(株)		
	執行役員福島支社長	茅原	稔
副部会長	福島市観光開発(株)		
	代表取締役社長	渡邊	勉
副部会長	福島社交飲食業組合		
	組合長	鈴木	悦朗
副部会長	(有)吉川屋		
	代表取締役	島	隆章

7. 情報・通信部会

◎1. 情報通信サービスに関するセミナー等の開催

AI、IoTの活用やキャッシュレス社会の動きなど情報通信分野のトレンドをわかりやすく解説するセミナーや体験型の講習会を開催し、会員事業所の経営革新につながる場を設ける。実施にあたっては関係機関・団体と協力し、PR等に努める。

◎2. 知見を広める視察会・情報共有の場づくり

部会員が持つ経験、知恵をさらに磨き上げるため、会員スピーチなどを通じて会員相互の理解を深めるほか、自社の得意分野以外の現場を見聞する視察会を実施する。また、他部会の事業についても参加する機会を設け、異分野同士の交流や販路拡大などに資するよう努める。

3. ICTを活用した福島市のまちづくりの調査・研究

大きく変わろうとしている福島市中心市街地の活性化や2020年の東京五輪・パラリンピック開催に伴うインバウンド増加への対応など、本市のブランド力向上にICTが果たす役割、必要性などを関連づけたまちづくりの調査・研究を行う。

部会長	東日本電信電話(株)福島支店		
	理事 支店長	山口	圭介
副部会長	朝日システム(株)		
	代表取締役社長	博多	義雄
副部会長	(株)インフォメーション・ネットワーク福島		
	代表取締役社長	富田	光
副部会長	(株)テレビユー福島		
	代表取締役社長	新田	良一
副部会長	福島テレビ(株)		
	代表取締役社長	森	洋一
副部会長	(株)福島民報社		
	専務取締役・編集主幹	芳見	弘一
副部会長	福島民友新聞(株)		
	代表取締役社長	五阿弥宏安	
副部会長	(株)ラジオ福島		
	代表取締役社長	半野	秀一

8. 不動産業部会

◎ 1. 高齢者・若い世代の都心居住の推進

- (1) 福島市内の居住環境整備の検討
 - ・ 県立医大「保健科学部」(仮称)の居住環境整備に関する意見交換会の開催
 - ・ 福島市内の公営集合住宅政策に関する研究
- (2) 日本版 CCRC 等の地域における福祉居住施設の整備に関する研究

◎ 2. 福島市空家等対策事業に関する意見交換会の開催

◎ 3. 福島市の土地利用の促進に関する研究

- (1) 東北中央自動車道、福島西道路沿線等の周辺の土地利用促進に関する研究
- (2) 市街化調整区域の見直しを含めた土地利用に関する研究

4. 視察会・講演会の実施

- ・ 「都心居住促進」、「土地利用促進」に関する視察会の開催
- ・ 当所会員および市民を対象とした講演会の開催

5. 会員事業所への情報の提供

- ・ 各種不動産に関連する情報提供の実施

部会長	日本通商(株)	
	代表取締役	藤田勝太郎
副部会長	東栄物産(株)	
	代表取締役社長	安部 宏
副部会長	(株)エスケーコーポレーション	
	代表取締役会長	岡部 政美
副部会長	(有)菅野地所	
	代表取締役社長	加納 武志
副部会長	小松興商(株)	
	代表取締役社長	小松 富彦
副部会長	(株)北陽不動産鑑定事務所	
	代表取締役社長	金子 克之
副部会長	(株)芭蕉堂	
	代表取締役社長	斎藤 伸洋



9. 健康・社会サービス部会

1. 接客のレベルアップに向けた取組み

接客のレベルアップにより顧客満足度を向上させ、売上アップを図るための講演会等を開催する。

- 「おもてなしセミナー」など

2. 生産性向上に向けた調査研究

IT導入など、業務効率化に繋がる経営戦略についての勉強会を開催する。

- 「SNS活用による売上アップセミナー」
- 「消費税軽減税率対応セミナー」など

3. 「健康経営」導入による経営安定化に向けた研究

従業員の健康を経営的な視点で捉えることで企業価値の向上や業績アップを目指す「健康経営」について、事例などを研究し導入に向けた支援を行う。

- 「健康経営セミナー」など

4. 親睦事業の実施

部会員間の交流を図るための親睦事業を開催する。

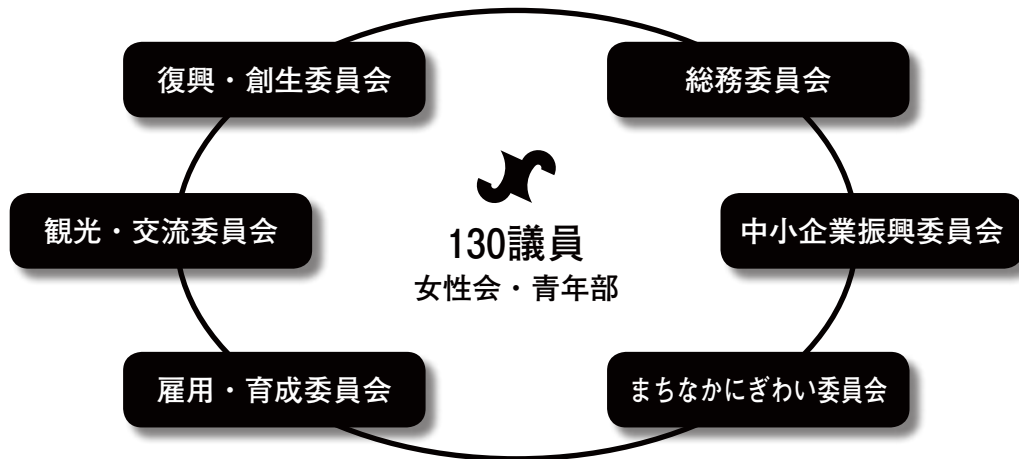
- 「先進地視察会」など

部会長	キョウワプロテック(株)		
	代表取締役	吾妻	学
副部長	(株)ウェディングエルティ		
	代表取締役社長	手塚	健一
副部長	(一財)大原記念財団		
	理事長	平子	健
副部長	(株)クリーンテック		
	相談役名誉会長	反後	堯雄

2. 委員会事業 (正副委員長は平成31年3月14日現在)

委員会とは

- 委員会は、福島全体の発展を目的とする商工会議所の基盤組織です。
- 地域の課題に対応するため、6つの委員会が設けられています。
- 議員事業所と女性会・青年部で構成され、それぞれの知見を活かしていきます。



平成31年度の福島商工会議所議員任期は以下のとおりとなります。

第29期 平成28年11月1日～2019年10月31日

第30期 2019年11月1日～2022年10月31日

◎は重点事業

1. 総務委員会

福島商工会議所の基本理念である「足腰の強い『健都ふくしま』」実現に向けて、更なる福島商工会議所活動の推進のため、「会員が満足する事業の充実」並びに「事業実施のための基盤強化」を検討課題として取り上げ、下記の事業を実施する。

委員長	朝日システム(株)
代表取締役	博多 義雄
副委員長	西川サッシ販売(株)
代表取締役会長	西川 博美
副委員長	(株)日進堂印刷所
代表取締役社長	佐久間信幸

1. 会員満足度向上に関する事業に関すること

会員がより満足する事業について、次の2点を基に検討を行う。

- (1) 会員満足度調査結果に基づく会員サービスの改善と新たな事業の研究
- (2) 先進商工会議所への視察の実施および先進事例の研究

2. 商工会議所組織基盤の充実強化に関すること

- (1) 組織率40%堅持のための議員・職員による新たな会員増強運動に関する検討
- (2) 会員向け生命共済、個人保険および業務災害補償等各種保険制度の加入促進
- (3) その他組織・財政基盤充実強化に関する検討



2. 復興・創生委員会

◎1. 福島市商工業の現状と課題並びに、今後の方向性に関する検討

- (1) 会員実態調査結果による福島市商工業の課題の把握
- (2) 会員実態調査を踏まえた今後の施策・方向性に関する研究

委員長	(株)いちい	代表取締役社長	伊藤 信弘
副委員長	コボックス(株)	代表取締役	小林 仁一
副委員長	(株)第一印刷	代表取締役社長	古川 幸治

◎2. 福島市の将来を見据えた都市形成のあり方の検討

- (1) 福島駅東口再開発を核とした中心市街地のまちづくりや活性化策の検討
- (2) 福島市の将来を担う高校生や大学生等の若者が考える、福島市のまちづくりに関する調査・研究
- (3) 交流人口拡大策および回遊性強化策の検討
- (4) 都市間広域連携に関する研究および先進地視察等の実施
- (5) 福島市立地適正化計画等を踏まえた持続的な都市づくりの研究

◎3. アクションプランの取りまとめと進捗管理

- (1) 各委員会・部会等で策定したアクションプランの取りまとめを行うとともに、その進捗状況について連絡と調整を図り、必要に応じてその実現について関係団体等への提言を行う。

3. 中小企業振興委員会

委員長	内池醸造(株)	代表取締役会長	内池 浩
副委員長	(株)大丸工務店	代表取締役	大和田知昭
副委員長	山正酸素(株)	代表取締役会長	佐藤 允昭

◎1. 中小企業の経営支援の強化および新規創業・新分野進出・新たな販促に関する支援・協力

- 改正小規模支援法に基づいた経営発達支援計画による会員事業所の伴走型経営支援
- 2019年10月に迫った消費税引き上げ・軽減税率制度開始に向けた各種支援
- IoT・AI・ロボット活用等による生産性向上支援
- 福島県事業引継ぎ支援センターおよび関係機関団体等と連携した事業承継・後継者問題等（個人事業者の事業承継税制等）に関する支援・拡充
- 当所制度ふるさと元気支援補助金等による新規創業・第二創業・新たな販促の支援および創業スクールを活用した支援の強化
- 小規模事業者持続化補助金等に係る計画策定等伴走型支援
- サービス業の品質を「見える化」する「おもてなし規格認証制度」の周知 PR

◎2. 連携中枢都市圏の形成促進に関する研究

- 中核市としての福島市独自の施策および連携中枢都市圏構想における周辺市町村との基本的な目的や連携する取り組みなどを規定する連携協約における産業振興に関する研究（具体的な事業に関しては、産学金官民の関係者を構成員とした「連携中枢都市圏ビジョン懇談会」で決定）

◎3. 大学をはじめ企業や研究機関、行政等との産学官連携の推進

- 2019年4月、金谷川の既存キャンパス内に新たに開設される福島大学農学群食農学類と連携した6次化事業についての研究
- 近隣の大学等をはじめとする研究機関との産学連携の推進
- 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化

4. 優良会員事業所表彰制度の実施

- 新商品・新技術開発の促進、独自のサービス手法などにより著しい発展を遂げた事業所および、省資源・省エネルギー化に積極的に取り組んでいる事業所、健康経営を積極的に推進している事業所、子育て世代の女性の社会進出や女性の積極的な登用などに貢献している事業所などを顕彰することにより、事業所の経営意欲を高め地域経済の活性化を図ることを目的に実施する。

※表彰の種類 ○経営革新賞 ○環境改善賞 ○地域貢献賞

5. 連携による中小企業振興の推進および情報提供

- 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
- 実践的なBCPの策定と活用への支援・協力
- オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力
- 医療、再生可能エネルギー、ロボット産業等に関する情報提供



4. 観光・交流委員会

委員長	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長	佐藤 豪一
副委員長	福島観光サービス(株) 代表取締役	齋藤 修
副委員長	(有)吉川屋 代表取締役	島 隆章

◎1. 観光振興によるインバウンド拡大への取組みの強化・支援

- (1) 福島市東京オリンピック・パラリンピック推進室等との連携による取組みの強化
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組みの強化・支援
 - ① インバウンド受入れ環境の充実・強化への支援
 - ② インバウンド受入れ拡大に向けた情報発信の強化・支援
 - ③ 外国人との接客に関するおもてなしセミナーに対する支援
- (3) 「おもてなし規格認証制度」の取得に関する支援

◎2. 東北中央自動車道の活用等による広域連携の促進

- (1) 東北中央自動車道沿線道の駅等を活用した本市観光PR・物産展の実施
- (2) 仙台国際空港・相馬港・東北中央自動車道等を活用した広域観光周遊ルートの検討
- (3) 福島圏域連携推進協議会との連携強化

◎3. 歴史、文化を活用したまちづくり

- (1) 福島市名誉市民「古閑裕而」氏に関連した各種事業の推進
- (2) まつりを活用した地域活性化への支援・協力
 - ① 東北絆まつり2019福島（6月1日・2日開催）
 - ② 第50回福島わらじまつり（8月2日・3日開催）

4. 観光振興策の強化およびDMOとの連携

- (1) 観光資源の利活用および観光シーズンに連動した誘客事業の実施
 【観光資源】 花見山・信夫山・福島競馬場・フルーツライン・旧広瀬座等
 【誘客事業】 ランチで食うボン・駅周辺でのイベント・伊藤若冲展
- (2) 日本版DMOに関する研究および先進地視察会の実施
- (3) 福島市および福島市観光コンベンション協会との連携
- (4) 「全国商工会議所観光振興大会2020 in 金沢」（2020年2月13日～15日開催）への参加

5. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力

6. 観光振興に関する各種情報提供

5. まちなかにぎわい委員会

委員長	福島市商店街連合会
会長	小河日出男
副委員長	(株)中合
代表取締役社長	黒崎 浩一
副委員長	(株)福島まちづくりセンター
常務取締役	草野 健

◎ 1. 福島市中心市街地の振興

(1) 駅周辺地区のイベント事業の充実

- ① 駅前通りや東西駅前広場などを会場とするイベント（福島駅前元気プロジェクト、当所青年部、女性会、市商連等主催イベント）の実施並びに他イベント等との連携強化
- ② 東北絆まつり2019福島および第50回わらじまつりへの支援・協力
- ③ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携並びに支援・協力
- ④ 駅前通りの歩行者天国化を実施するための仕組みづくりの検討
- ⑤ 商店街やNPO等との各種行事・イベントへの支援・協力

(2) 駅周辺整備に関する情報提供

- ① 風格ある県都を目指すまちづくり構想
～福島市中心市街地における将来ビジョンおよび公共施設の戦略的再編整備に関する方向性～
- ② 駅東口地区市街地再開発事業 など

2. 若者のまちづくりへの参画

(1) 福島県立医科大学と福島学院大学を核とした若い世代に魅力のあるまちの創造

- ① 福島県立医科大学、福島学院大学等との連携によるまちなかでのイベントの検討並びに学生が滞留するための施設等の検討
- (2) 市内の学生および若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくり
 - ① 福島大学、福島県立医科大学、福島学院大学等との連携によるまちづくり活動への取り組みの検討（学生との意見交換会等の開催など）
 - ② 若者リノベーションまちづくりに関する先進地視察研修会の開催



6. 雇用・育成委員会

1. 人材育成と多様な人材の活躍に関すること

- ◎① 高等学校との連携による就職促進等の取り組み
(意見交換会・企業見学会等の開催)
- ◎② 中小企業における多様な人材の活躍に関する研究
(女性、高齢者、外国人等の活躍促進)
- ◎③ 大学等(COC + 事業・福島市産官学連携プラットフォーム)との連携
(インターンシップの充実・キャリアサポーター制度の推進等)

2. 中小企業の働き方改革に関すること

- ◎① 働き方改革に関する国の各種施策についての情報提供
- ◎② ワーク・ライフ・バランスの普及啓発および推進

3. 健康経営・職場環境に関すること

- ◎① 健康事業所宣言の推進
- ◎② チャレンジふくしま県民運動に関する支援・協力
- ◎③ 健康経営セミナーに関する支援・協力

委員長	(株)東邦銀行			
	専務取締役	佐藤	稔	
副委員長	日東物産(株)			
	代表取締役会長	大橋	廣治	
副委員長	(株)古俣工務店			
	代表取締役	古俣	猛	

3. 推進体制

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して
 新生ふくしま～さらなる挑戦～

